

ラジオ、ヒーター、エア・コンディショナーの使い方

ラジオ、ステレオの使い方.....	64
アンテナ.....	64
ラジオ/カセット・ステレオ.....	64
ヒーター、エア・コンディショナーの使い方	73
吹き出し口.....	73
ヒーター.....	74
エア・コンディショナー.....	78
オート・エア・コンディショナー.....	80



ラジオ、ステレオの使い方

■アンテナ

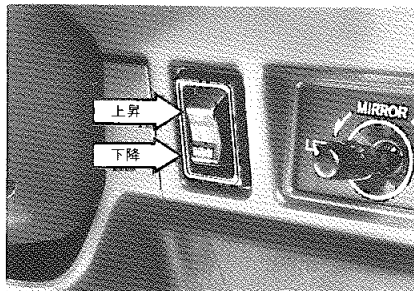
セダン/ハードトップ車

リヤ・ウインドウ・ガラスに埋め込んであります。
アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は、ぬらした布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは使用しないでください。

ワゴン/バン車

▶引き出し式アンテナ
使用時は、いっばいに引き出します。

▶電動式アンテナ *



1. エンジン・スイッチがACCかONのとき、スイッチのUP（上昇）側を押している間、バック・ドア左側にあるアンテナが自動的に上昇します。
2. DOWN（下降）側を押している間、下降します。

★アンテナ周囲の安全を確認してからスイッチを動かしてください。

★上昇・下降が終わったらスイッチから手をはなしてください。

★車からはなれるとき、または使用しない場合はアンテナを収納してください。

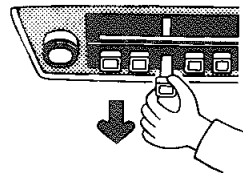
■ラジオ/カセット・ステレオ *

エンジン・スイッチが、ONまたはACCの位置のときに使用できます。

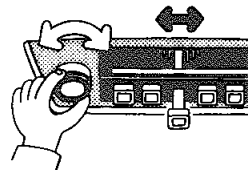
〈選局ボタンのセット〉

AMラジオ、AM/FMラジオ、
AM/FMマルチ・ラジオ

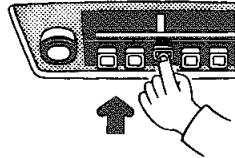
1. 選局ボタンの1つを、いっばいに引き出します。



2. 選局つまみで、選局指針を希望の局に合わせます。

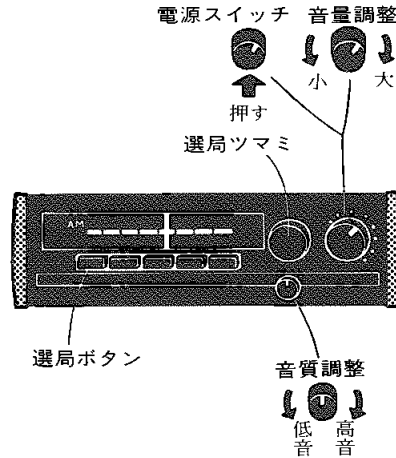


3. 引き出した選局ボタンを、いっばいに押し込みます。

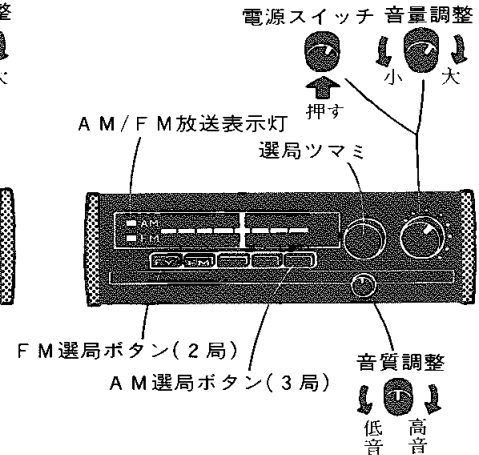


4. 以上の操作により、選局指針がどの位置にあっても、選局ボタンを押せば、あらかじめセットした局を受信できます。
5. 他の選局ボタンも同じ要領でそれぞれの局にセットできます。

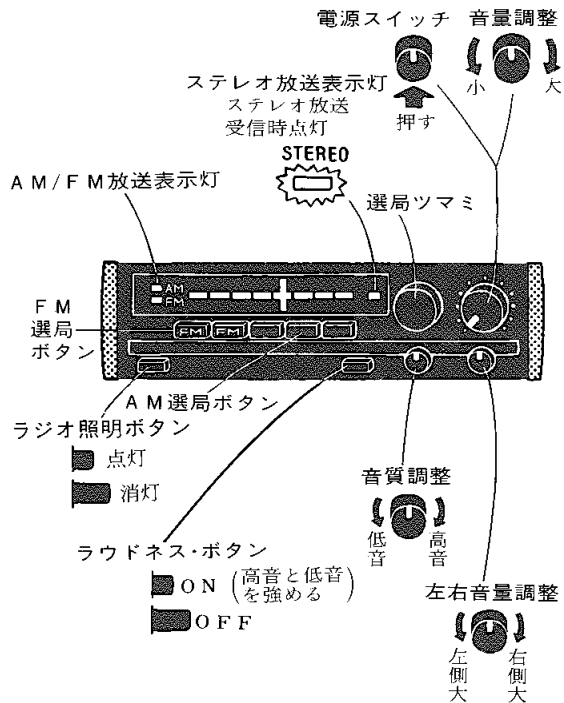
▶ AMラジオ



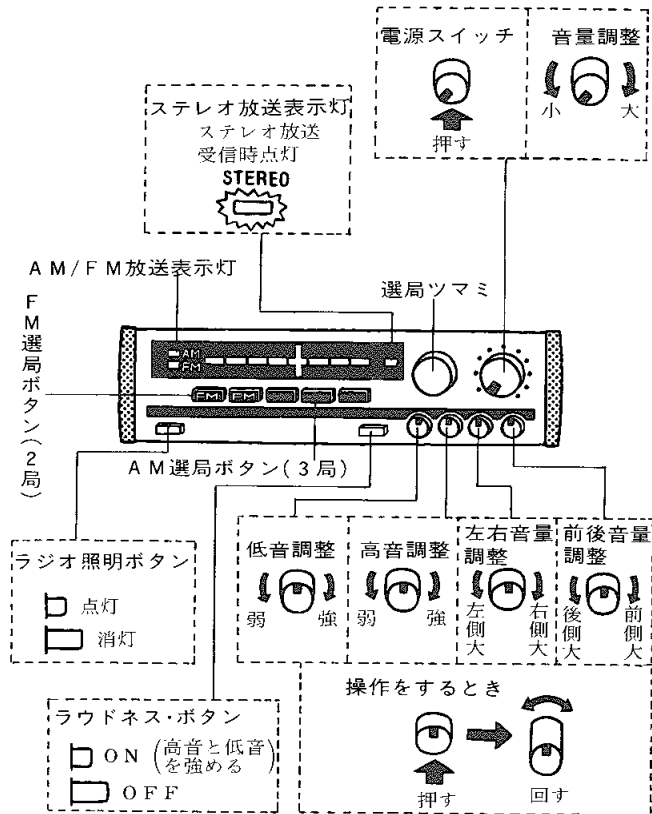
▶ AM/FMラジオ



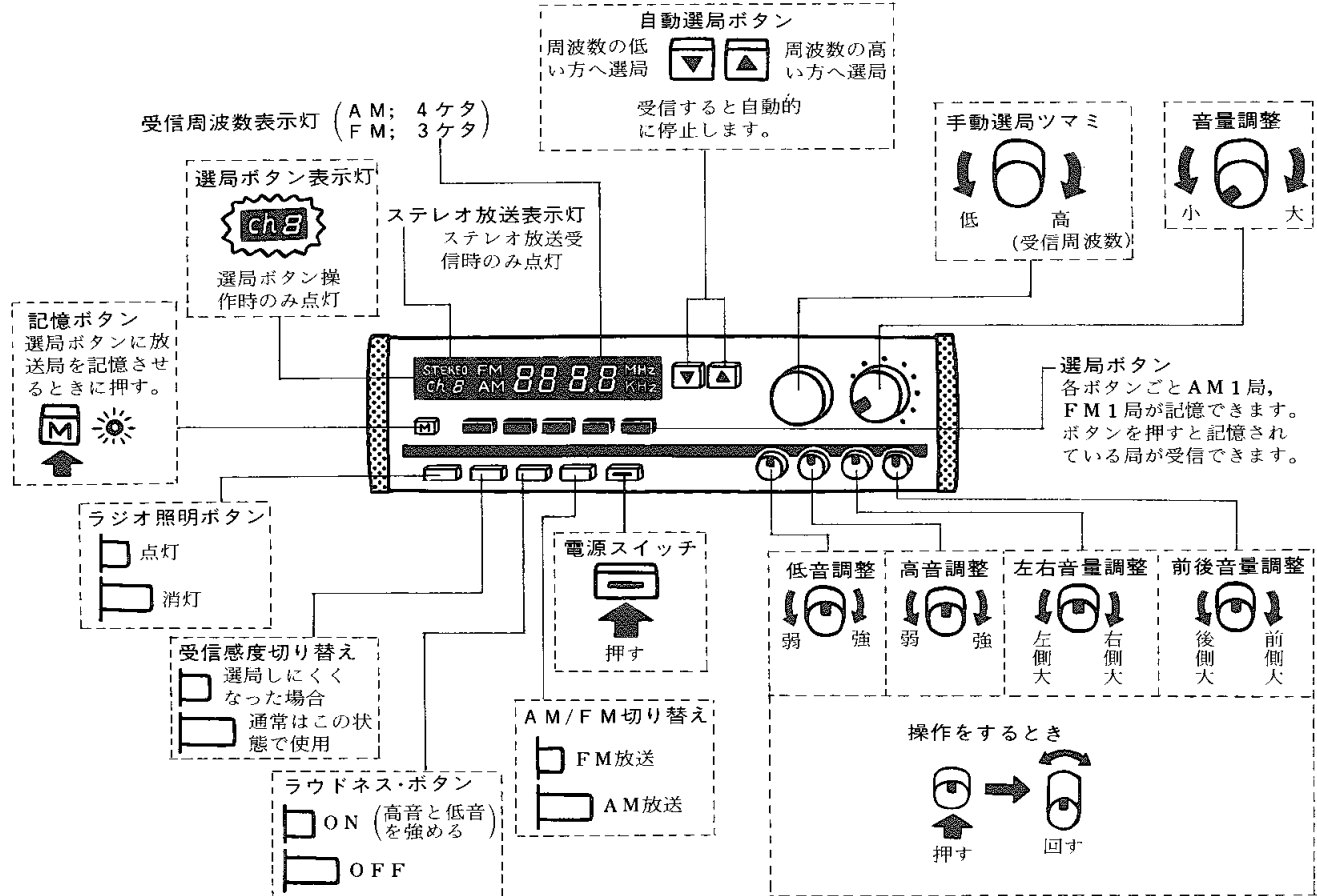
▶ AM/FMマルチ・ラジオ(2スピーカー)



▶ AM/FMマルチ・ラジオ(4スピーカー)



▶ AM/FMマルチ電子サーチ付きラジオ



〈選局ボタンのセットについて〉

(例) 選局ボタン②にNHK-FM(東京)-
82.5MHzを記憶させる場合

1. AM/FM切り替えボタンをFMの位置にします。
2. 手動選局つまみまたは自動選局ボタンで受信周波数(82.5MHz)に合わせます。
3. 記憶ボタンを押します。



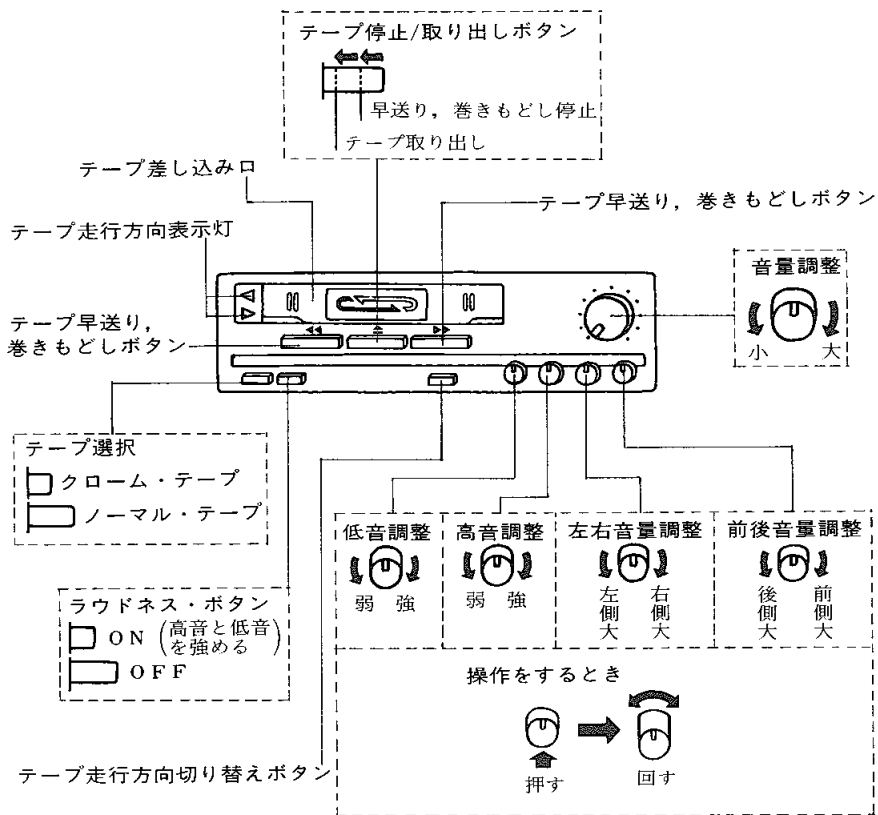
4. 選局ボタンの2を押します。



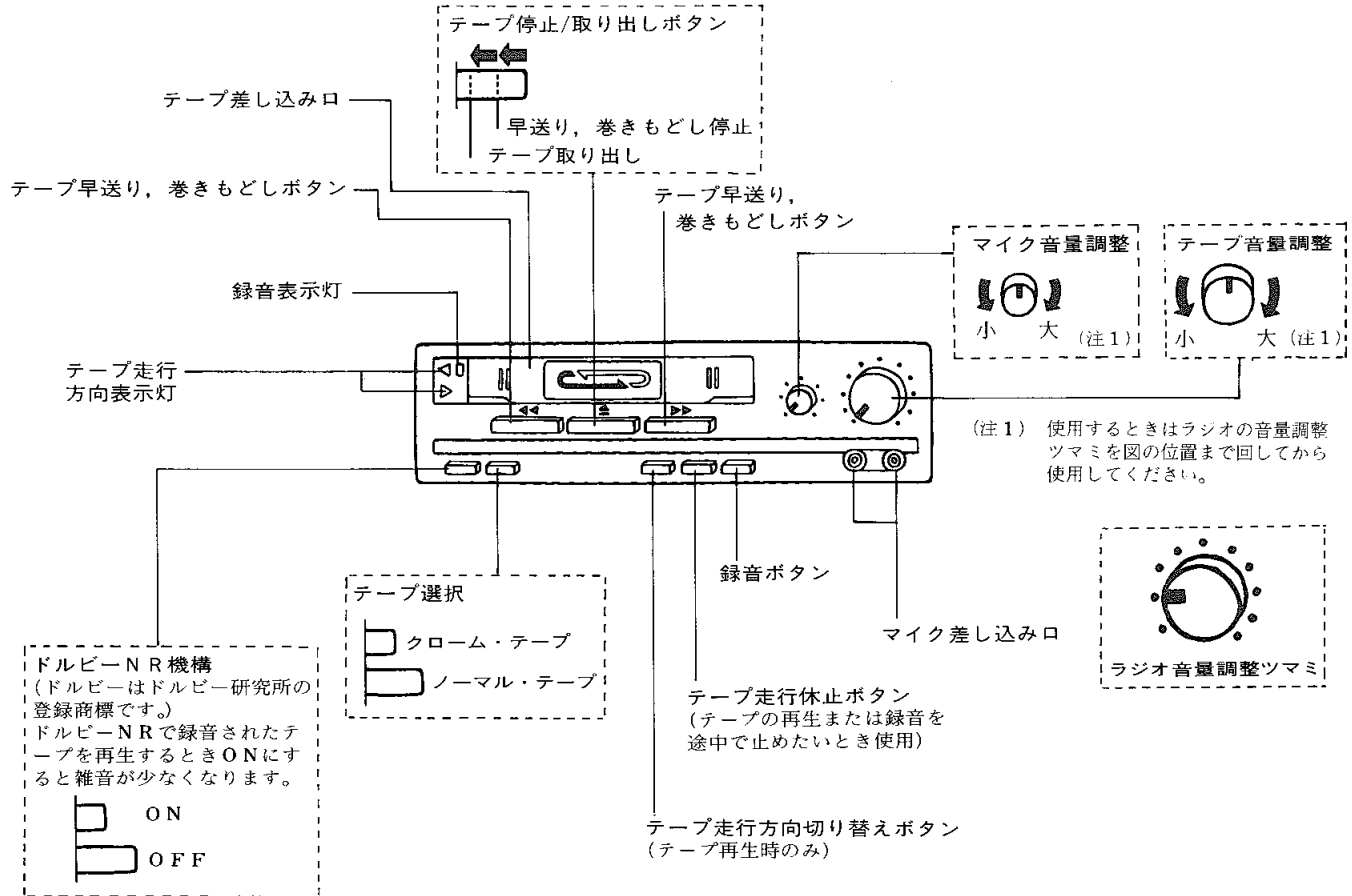
5. 以上の操作で選局ボタンの②にNHK-FM(東京)が記憶できます。
6. あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、手動選局つまみでセットしておくことができます。

車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断られた場合、選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度選局ボタンに記憶しなおしてください。

▶カセット・ステレオ(録音機構なし)



▶カセット・ステレオ(録音機構付き)



<録音について>

ラジオ録音

1. マイクをマイク差し込み口(MIC)から抜きます。
2. 録音ボタン(REC)を押したまま、録音したい面を上側にしてテープを差し込みます。
3. 録音表示灯とテープ走行方向表示灯が点灯し、録音が始まります。録音は、各音量調整ツマミに関係なく、自動的に一定レベルで調整されます。
4. 録音中にテープ片面が終了するとテープは停止し、テープ走行方向表示灯の反対方向が点灯します。録音を続けたいときは、テープ取り出しボタンを強く押してテープを取り出し、反対にして2の操作をくり返してください。
5. 録音を途中で解除したい場合は、テープ取り出しボタンを強く押してテープを取り出してください。

マイク録音

1. マイクをマイク差し込み口に差し込みます。リモコン付きマイクはマイク・ジャックを左右間違えないよう(径の太い方を右側)に差し込みます。マイクに付いているスイッチで録音を一時停止することができます。
2. 録音ボタンを押したまま、テープを差し込みます。録音中のテープの取り扱いはラジオ録音の場合と同じです。
3. 録音は、マイク音量調整ツマミおよびテープ音量調整ツマミに関係なく、自動的に一定レベルで調整されます。なお録音中のマイク音声を確認する場合は、マイク音量調整ツマミで行ってください。
4. 録音が終了したら、テープを取り出し、マイクを抜いてください。

マイク・ミキシング(カラオケ)

1. テープ再生時に、マイクを差し込めばテープの再生音にマイク音を

重ねることができます。

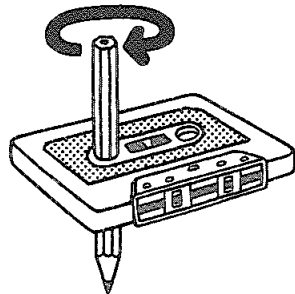
テープ音量調整ツマミとマイク音量調整ツマミで音量の割合を調整することができます。

2. テープ再生時に、マイク音声だけを聞きたい場合はマイクに付いているスイッチをOFFにするか、カセット・ステレオのテープ走行休止ボタンを押してください。

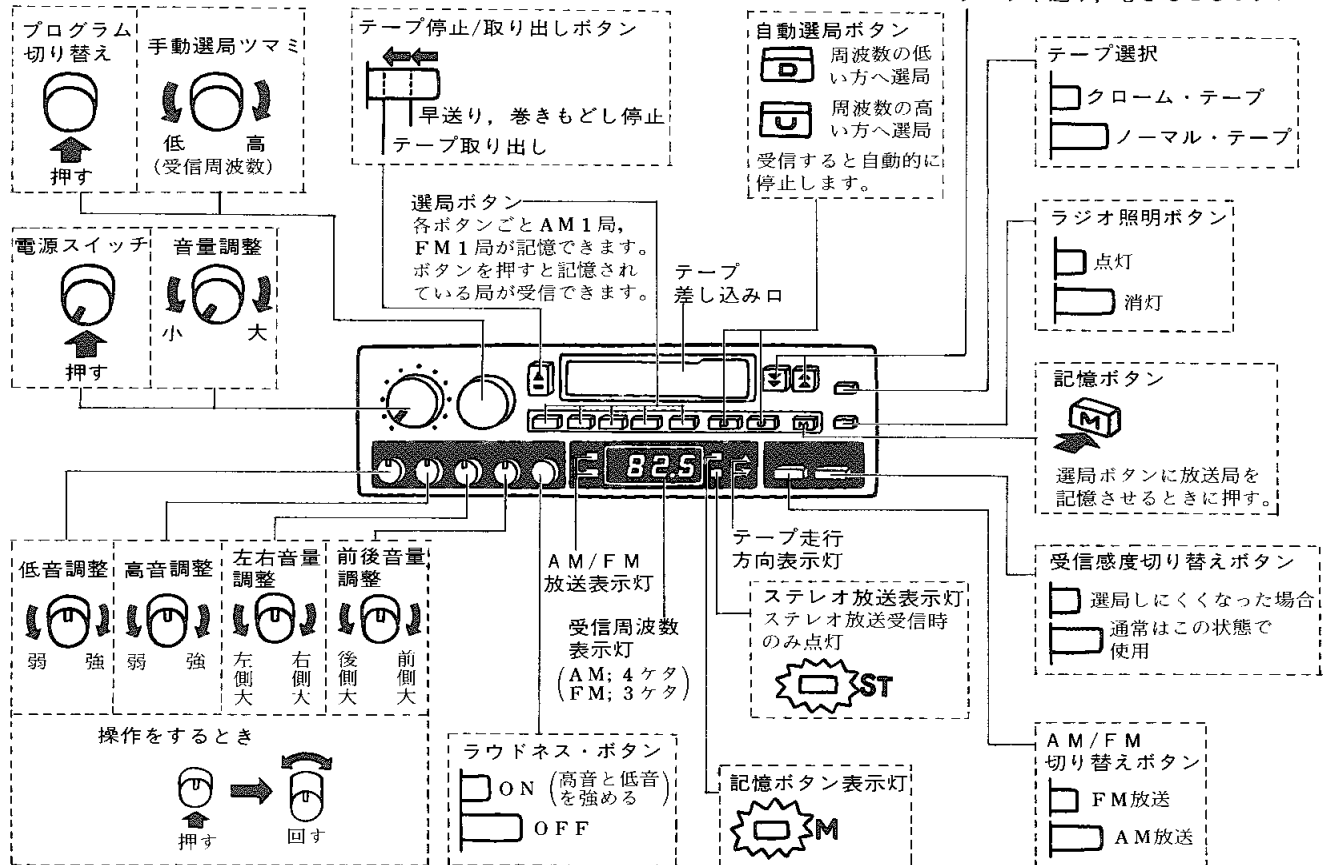
★録音は、常に差し込まれたテープの上側のプログラムに録音されます。

★テープはケースに入れ、直射日光やほこりをさけて保存してください。

★テープは、鉛筆などで軽く外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。



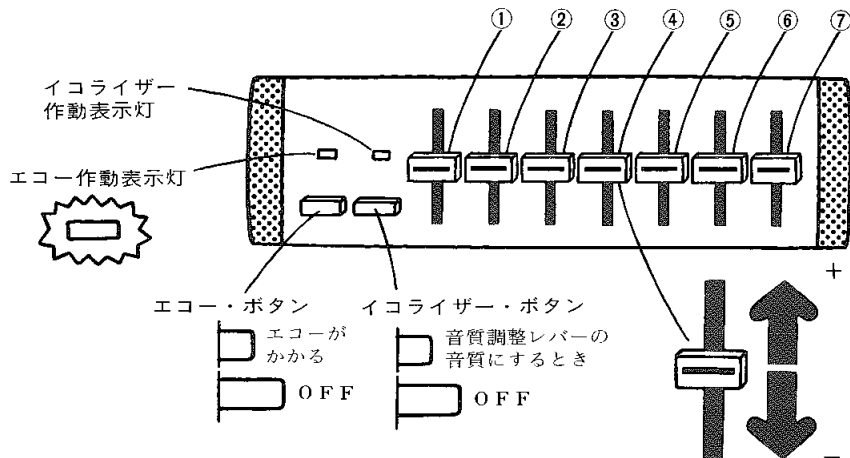
▶カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ付きラジオ



▶ グラフィック・イコライザー

1. 再生音にエコーをかけることができます。
2. 再生音を7段階の周波数帯に分割し、超低音(60Hz)から超高音(10 KHz)まできめ細く音質調整ができます。

- ①超低音 (60Hz) 音質調整レバー
- ②低音 (125Hz) 音質調整レバー
- ③低音 (250Hz) 音質調整レバー
- ④低音 (500Hz) 音質調整レバー
- ⑤中音 (1 KHz) 音質調整レバー
- ⑥高音 (3.5KHz) 音質調整レバー
- ⑦超高音 (10KHz) 音質調整レバー



＜音質調整＞

イコライザー・ボタンを押し、ONの状態にすると音質調整レバーで各レバーの受け持っている周波数帯の音質を調整することができます。

(例) 超低音(60Hz)の音質を調整する場合

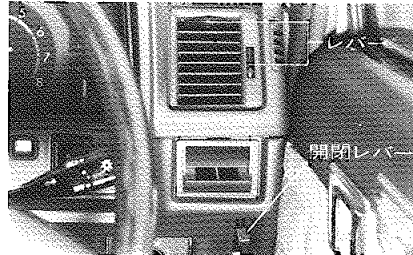
1. イコライザー・ボタンを押し、ONの状態にします。
2. ①の音質調整レバーを+側にすると超低音が強調され、-側にすると弱められます。

ヒーター、 エア・コンディ ショナーの 使い方

■吹き出し口

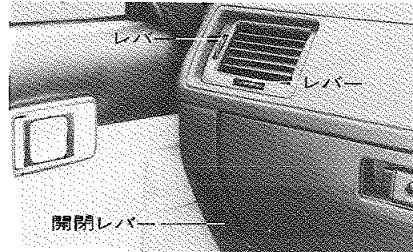
ヒーターを操作することにより、換気装置およびドア・ガラスの曇り止め(左右吹き出し口)として使用します。風向きは自由に調整できます。

▶右側



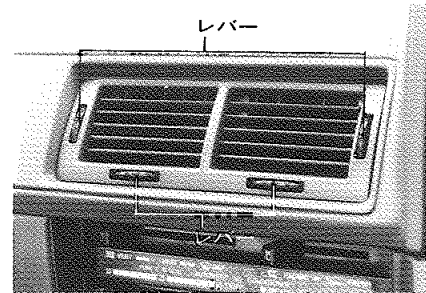
レバーを動かして、風向きを調整してください。吹き出し口をとじるときは開閉レバーを下にしてください。

▶左側



操作方法は右側吹き出し口と同じです。

▶中央

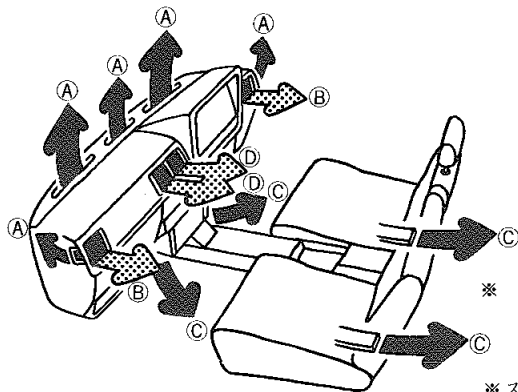
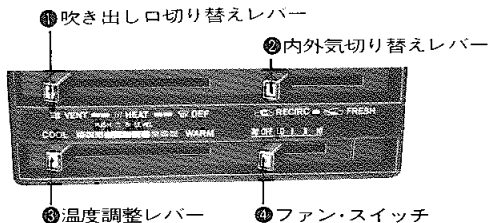


レバーを動かして、風向きを調整してください。

■ ヒーター

グランド車を除く

冷風（外気）と温風を混合して、好みの温度がえられるフル・エア・ミックス方式になっています。



※スタンダード車を除く

①吹き出し口切り替えレバー

（各吹き出し口の風量の割合を無段階に調整することができます。）

換気……………上半身、顔面に温風（VENT）冷風を送ります。



吹き出し口→②④

頭寒足熱……………レバーがHEAT位置のとき押し、



頭寒足熱のこちよい暖房を行いません。

吹き出し口→②, および①③から少々

暖房……………室内暖房（最大暖房）



吹き出し口→②④, および①から少々

曇り取り……………フロント・ガラス



およびドア・ガラスの曇りを取ります。

吹き出し口→①②, および③から少々

②内外気切り替えレバー

内気循環……………内気循環式，急速
(RECIRC)



に車内を暖めるとき，または外気がよごれているときなど一時的に使用します。

外気導入……………外気導入式に切り
(FRESH)



替わります。

③温度調整レバー

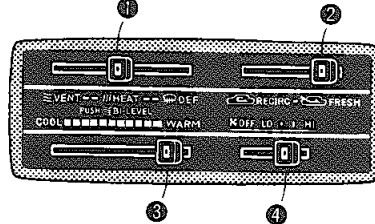
COOL から WARM まで無段階に温度を調整できます。

④ファン・スイッチ

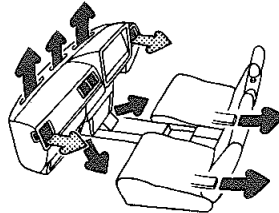
風量を，4 段階に調整できます。

▶室内暖房

〈レバーのセット位置〉



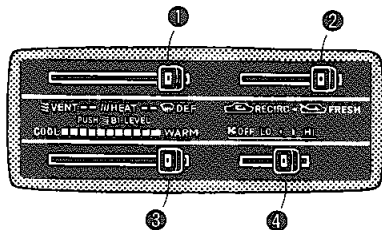
〈吹き出し口〉



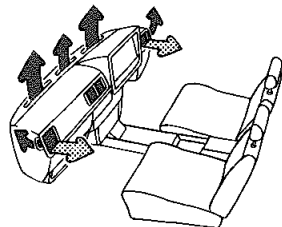
1. 暖かくなってきたら④のスイッチをOFF側へ，また③のレバーをCOOL側へ移動させてお好みに合った状態に調整してください。
2. トンネル内，渋滞などで外気がよごれている場合以外②のレバーはFRESHの位置で使用してください。

RECIRCで使用するとガラスが曇りやすくなります。

- ▶フロント・ガラスおよびドア・ガラスの曇りを取るとき
 <レバーのセット位置>



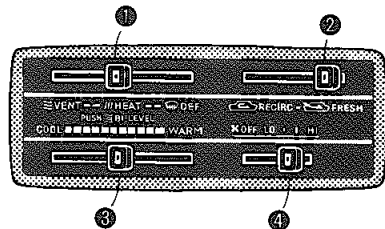
<吹き出し口>



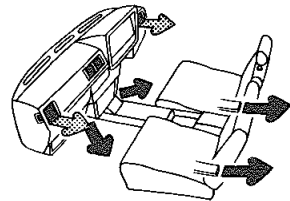
1. ①のレバーをDEFとHEATの中間にすれば曇りを取ると同時に足元も暖められます。
2. 曇りが取れたら①のレバーをHEAT側へ動かしてください。

3. 夏期の曇り止めには、③のレバーを適度に調整して使用してください。
4. ②のレバーをFRESHで使用してください。

- ▶頭寒足熱型にしたいとき
 <レバーのセット位置>



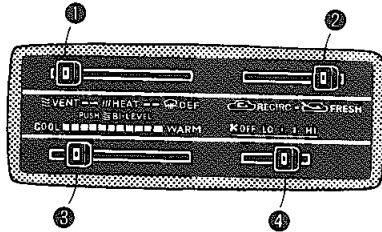
<吹き出し口>



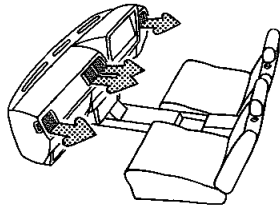
1. ①のレバーをHEATの位置で押し、③のレバーをCOOLとWARMの中間の位置で使用すれば、暖められた風が足元から、比較的温度的低い風が左右吹き出し口から吹き出します。
2. ②のレバーをFRESHにしてください。

▶換気したいとき（強制換気）

＜レバーのセット位置＞



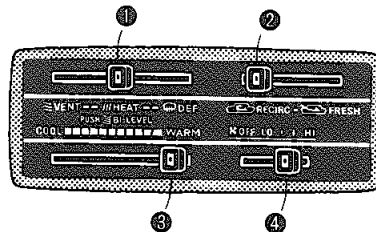
＜吹き出し口＞



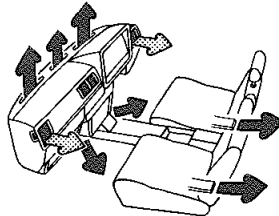
1. 外のさわやかな風が中央および左右吹き出し口から吹き出します。
2. ③のレバーをWARM側へ動かすことにより吹き出し温度を暖かくすることもできます。

▶急速暖房

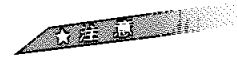
＜レバーのセット位置＞



＜吹き出し口＞

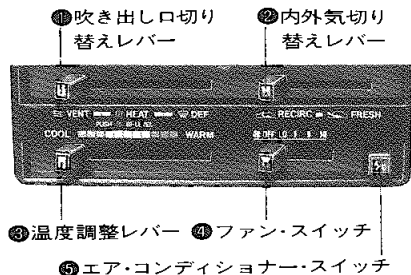


1. 早く暖房したい場合や、外気がよごれている場合に、一時的に②のレバーをRECIRCの位置で使用します。
2. 通常はFRESHの位置にしてください。



②のレバーがRECIRCのとき③のレバーをDEFにしないでください。ガラスが曇り危険です。

■エア・コンディショナー *



ヒーターにクーラーを組み付け暖房、冷房はもちろん、湿気も取り去るオール・シーズン・タイプです。

暖房操作は、ヒーターの項目を参照してください。

この項目では、冷房、除湿操作について説明します。

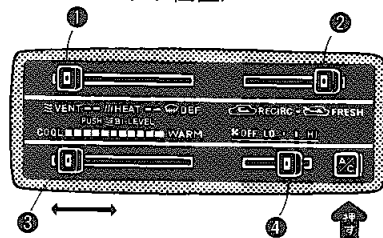
★エア・コンディショナーをクーラーとして使用するとき、ドア・ガラスをしめてください。

★エア・コンディショナー使用中はアイドル回転がふだんより少し高目になります。

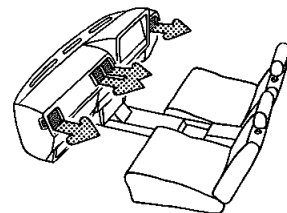
★エア・コンディショナーを長期間使用していると、クーラー・ベルトのゆるみや冷媒ガスの消耗などにより冷えが悪くなることがあります。冷えや除湿効果が悪いときは、サービス工場にて点検を受けてください。

▶通常冷房

〈レバーのセット位置〉



〈吹き出し口〉

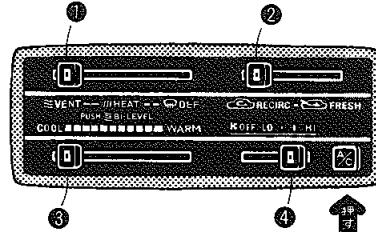


1. ⑤のスイッチをONにします。
2. 室内の換気をし、湿気を取り快適な冷房をします。通常走行中は、この位置で使用してください。
3. ③のレバーをCOOLからWARMの間で調節し、快適な温度にしてください。

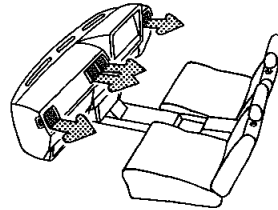
4. ④のレバーを1段目からHIの位置で調整してください。
5. 渋滞やトンネル内などで外気がよごれているときは一時的に②のレバーをRECIRCの位置でご使用ください。

▶最大冷房

＜レバーのセット位置＞



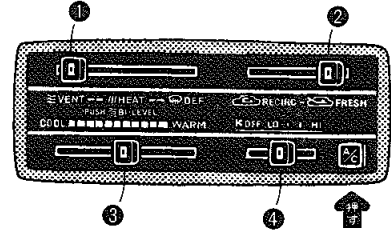
＜吹き出し口＞



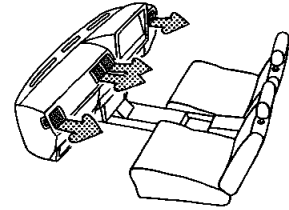
1. ⑤のスイッチをONにします。
2. 直射日光にさらされ室温が非常に高いとき早く室温を下げるには、全ドア・ガラスをあけて換気した後、冷房してください。
3. なお、この位置で長時間使用する場合は、換気のためときどき②のレバーをFRESHにしてください。

▶除湿

＜レバーのセット位置＞



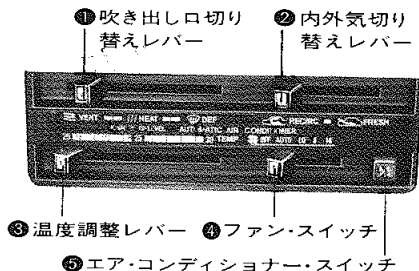
＜吹き出し口＞



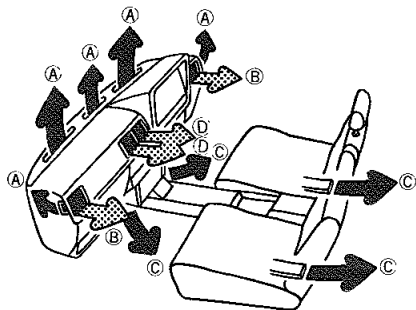
1. ⑤のスイッチをONにします。
2. 雨天時など窓ガラスが曇りやすいとき、室内の湿気を取り除きます。③のレバーはCOOLからWARMの間で調節します。

■ オート・エア・コンディショナー *

ワンボックス車のみ標準装備



コントロール・レバーを一度セットすれば、室内を常に快適な温度に自動コントロールできます。



操作方法

- ⑤のスイッチをONにします。
- ②のレバーを**FRESH**にします。通常はこの位置でご使用ください。急速暖房あるいは急速冷房したいときは、**RECIRC**を使用してください。
- ③のレバーをお好みの温度に合わせます。平均室温が希望温度になるように自動的に作動します。
- ④のスイッチをセットします。
OFF ……送風停止。
AUTO ……風量が自動的に**HI**から**LOW**の間にコントロールされ、希望温度に保たれます。
LO・HI ……風量が、手動で3段階に調整できます。ただし、この場合室温は温度レバーの目盛りに対し多少ずれることがあります。

- ①のレバーを切り替えます。

VENT ……送風の吹き出し口が②

①のみ必要なとき。通常は急速冷房したいときに使用します。

〈吹き出し口—②①〉

BI-LEVEL…頭寒足熱のこちよい冷暖房を行ないます。

ただし、寒冷時(−10℃以下)に使用すると上下の温度差が少なくなり、中央および左右吹き出し口から温風が出てきます。

〈吹き出し口—②, および①③から少々〉

HEAT……ヒーターとして使用する
とき。

ただし、ファン・スイッチを**AUTO**の位置で使用すると、冷却水の温度によりプロアは自動切り替えとなります。

〈吹き出し口—**B**、**C**、および**A**から少々〉

DEF……窓ガラスの曇りを取る
とき。

〈吹き出し口—**A**、**B**、および**C**から少々〉

冬期に、ヒーターとしてのみ使用する場合は、**⑤**のスイッチを**OFF**にしてください。除湿が必要な場合は**ON**にしてください。

